

code

Code Reader 2600



適合安全基準



Code Reader 2600 (CR2600) は、FCC 規格適合のテストを受け、全ての FCC 規則・基準に準拠していることが認められました。

重要事項 : FCC RF Exposure 適合性の要求に準拠するには、他のアンテナあるいはトランスミッターと結合して配置したり操作しないこと。

注 意 : 適合性認可団体によって認可されていない変更・修正は、該当装置の使用を禁じることがある。



Code Reader 2600 (CR2600) は、CE の基準とガイドライン適合テストを受け、CE 基準の適合範囲に合致していることが判明した。特に、EMC の要求の EN 55024、ESD EN 61000-4-2、Radiated RF Immunity EN 61000-4-3、ENV 50204、EFT EN 61000-4-4、Conducted RF Immunity EN 61000-4-6、EN 55022、Class B Radiated Emissions and Class B Conducted Emissions

Code 社は、ケースを開けられるか、あるいは何らかの改造された場合には、製品保証を無効にします。

加えて、Code Reader 2600 は、EN 60950-1:2006/A11:2009/A1:2010 の安全と品質基準を満たしています。

本マニュアルに記述されたソフトウェアは、ライセンスアグリーメント条項にしたがってのみ使用されるものです。

本マニュアルのいかなる記載も、いかなる形態でも、いかなる手段でも Code 社の書面での許可がないものは複製できないものとする。これは、例えば写真のコピーあるいは情報記憶復元装置に記録することなどの電子的・機械的を問わずに含まれる。

免責事項

本マニュアルの内容は、無保証で提供されます。さらに、本文書は、Code 社の責務を表しているものではありません。Code 社は、これが正確であること、完全であること、あるいはエラーが無いことを保証しているものではありません。本文書のいかなる利用もユーザーのリスクに帰属します。Code 社はアプリケーション、あるいは本文書に記載されているいかなる製品ないしアプリケーションの利用から発生する、あるいは関連して発生する製品の信頼性に対する責任を持つものではありません。

無認可事項

結果による禁反言、あるいは、Code 社のいかなる知的財産所有権の基であれライセンスは、付与されておりません。如何なる形式で Code 社のハードウェア、ソフトウェアおよびテクノロジーを利用することは、Code 社との契約によって管理されます。

下記は、Code 社の商標ないし登録商標です。

CodeXML, Maker, QuickMaker, CodeXML Maker, CodeXML Maker Pro, CodeXML Router, CodeXML Client SDK, CodeXML Filter, HyperPage, CodeTrack, GoCard, GoWeb, ShortCode, GoCode, Code Router, QuickConnectCodes, Rule Runner, Cortex, CortexRM, CortexMobile, Code, Code Reader, CortexAG, CortexStudio, CortexTools, Affinity, Cortex Decoder

本マニュアルに記載されている他の全ての製品名は、関連する会社の商標であります。そしてこの場で認知されたものです。

Code 社のソフトウェアないし製品は、特許取得済みの発明物、あるいは特許申請中の発明物を含みます。
合衆国特許 : 6997387, 6942152, 7014113, 7070091, 7097099, 7353999, 7519239, 7621453, 8001550, 8011584
Code Reader ソフトウェアは、Mozilla 公開許可バージョン 1.1 の下で配布される Mozilla SpiderMonkey JavaScript エンジンを使用しています。

Code Reader ソフトウェアは、独立した JPEG グループのワークの一部に基づいています。

目次

1. 開 梱.....	4
2. 充電ステーションの組み立て	4
3. バッテリー装着・取り外し	5
4. CR2600 の充電	5
5. バッテリー残量の確認	6
6. 電源 On/Off	6
7. CR2600 読取方法	6
8. コミュニケーションモードスイッチ	7
9. USB Downloader Mode	7
10. Batch Mode (USB Communication Mode 利用)	8
11. Batch Mode 状態通知.....	8
12. CodeXML モデムの接続.....	9
13. Bluetooth コネクションの確立.....	9
14. 読取範囲.....	10
15. リーダーフィードバック	10
16. 読取シンボル (デフォルト設定オン)	11
17. 読取シンボル (デフォルト設定オフ)	11
18. Suffix Enter キー.....	11
19. リーダーID とファームウェアバージョン	12
20. CR2600 外観・寸法.....	13
21. 充電ステーション外観・寸法	13
22. メンテナンス	14
23. 保証.....	15

1. 開 梱

CR2600 を梱包より取り出し、状態を確認して下さい。もし CR2600 が輸送中に破損していたら下記まで連絡下さい。

コードリーダー・ジャパン株式会社
support@codereader-jp.com

ご購入頂いた構成に基づいて下記のアクセサリが CR2600 と同梱されます。



2. 充電ステーションの組み立て

1. USB ケーブルのジャック、または AC アダプタを充電ステーションに挿して下さい (図 1)。CodeXML モデム組込型の充電ステーションは通信のために USB ケーブルの接続は必須になります。
2. ベースプレートを取り付けします。“This Side Down” (図 2) と書かれている面を表側にしてネジ穴を合わせ、充電ステーションの表側からネジを固定して下さい (図 3)。



4. 装置などに固定する際は“ This Side Down ” (図 2) を下にして予備用のネジ穴を使用して固定して下さい。
5. 充電ステーションをベースプレートの上に載せて表側からネジを固定して下さい (図 3)。

3. バッテリー装着・取り外し

バッテリーは下記の図のように装着して下さい。正しく装着されるとカチッと音がしてロックされます。バッテリーを取り外す際は、ロックを横にスライドして解除して下さい。



4. CR2600 の充電

1. 充電ステーションの USB ケーブルを PC、または AC アダプタのコンセントに挿して下さい。



※ 注意

出荷時のバッテリー残量は約 50%です。使用前にバッテリーを 100%まで充電して下さい。

消耗されたバッテリーのおおよその充電時間は USB ケーブルをご利用の場合は約 4 時間、AC アダプタは約 2 時間半です。

2. プラスチックカバー “Remove Before Use” を取り外して CR2600 を充電ステーションに置いて下さい。



5. バッテリー残量の確認

残量確認ボタンを押すとバッテリー残量が確認できます。バッテリー残量が10%以下の場合には1番目のLEDが点滅します。残量が25%以下、またはそれ以上の場合はそれぞれのLEDが4秒間点灯します。



・バッテリー残量と残量通知 LED

バッテリー残量	LED 1	LED 2	LED 3	LED 4	LED 5
10%以下	点滅				
25%以下	点灯				
25 ~ 50%	点灯	点灯			
50 ~ 75%	点灯	点灯	点灯		
75%以上	点灯	点灯	点灯	点灯	点灯

6. 電源 On/Off

電源 On にする際は上部ボタン、またはトリガーボタンを1秒間押し続けて下さい。CR2600 はピープ音、バイブレーションを1回鳴らし、LED が点灯して起動します。

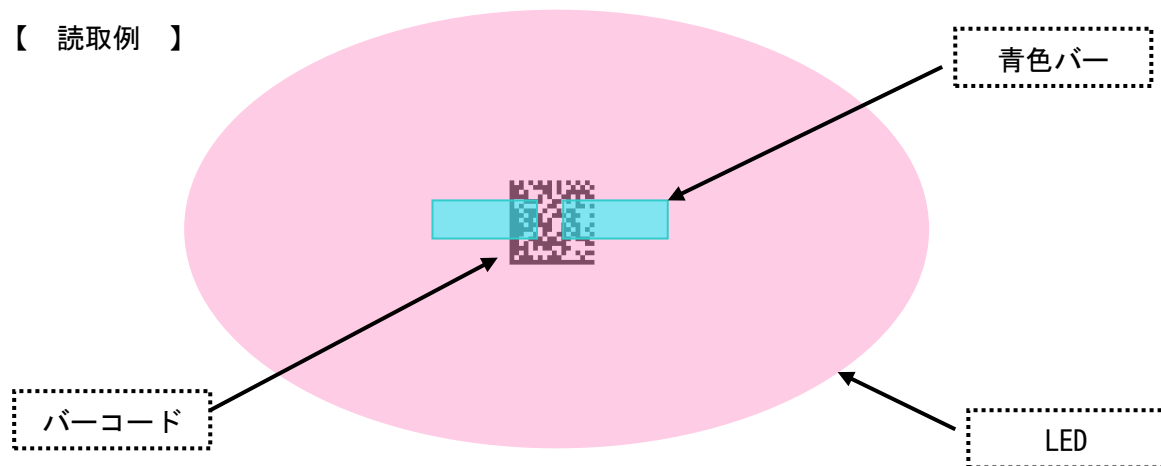


7. CR2600 読取方法

CR2600 上部のどちらかのボタン、またはトリガーボタンを押すとターゲットに使用する青色バーが2つ照射されます。青色バーをバーコードの中心に合わせて下さい。リーダーとバーコード間の最適な距離は約10cmです。リーダーが最適な距離に合うと自動的にバーコードを読取ります。



【 読取例 】



CR2600 が正常にバーコードを読取するとピープ音、バイブレーションを 1 回鳴らし、読取通知 LED を緑色に点滅して通知します。

8. コミュニケーションモードスイッチ

CodeXML モデム組込型充電ステーションにはコミュニケーションスイッチが搭載されています。コミュニケーションモードスイッチは CR2600 と充電ステーション間の通信を Bluetooth モードと有線モードの切替を行います。

コミュニケーションモードスイッチは右側（矢印の方向）にある時は、CR2600 はモデムと Bluetooth 通信を行います。充電ステーションの前面に貼付されている QCC を読取すると接続が確立します。読取されたバーコードデータは Bluetooth 通信にてホスト PC へ送信されます。

有線通信が必要な場合はコミュニケーションモードスイッチを左側にします。パッチモードの設定コード（USB Downloader Mode、Keyboard Mode、Virtual COM Mode）からインターフェイスを選択して読取します。有線通信時にデータを送信する際はデータを読取した後に CR2600 を充電ステーションに載せて下さい。



コミュニケーション
モードスイッチ

9. USB Downloader Mode

Cortextools を利用して CR2600 のファームウェア、設定を編集する際は、USB Downloader (HID) Mode を利用します。既に CR2600 と充電ステーションが USB Downloader Mode で通信している場合は項目 2 から実行して下さい。

CR2600 を有線通信で利用する場合は、充電ステーションに CodeXML ルーターが組み込まれている必要があります。

1. 充電ステーションのコミュニケーションモードスイッチを左側（矢印の逆側）にして下さい。
2. Cortextools を起動して下さい。
3. USB Downloader Mode の設定コードを読取して下さい。
4. CR2600 を充電ステーションに挿して下さい。
5. Cortextools の詳細な使用方法は Cortextools のユーザマニュアルをご参考下さい。

USB Downloader (HID) Mode
configuration code



M10004 02

10. Batch Mode (USB Communication Mode 利用)

CR2600 は Batch Mode に設定することによってデータを保存し、USB 通信モードを介してデータ送信することが出来ます。既に CR2600 と充電ステーションが USB Downloader Mode で通信している場合は項目 2 から実行して下さい。

1. 充電ステーションのコミュニケーションモードスイッチを左側（矢印の逆側）にして下さい。
2. バッチモードを選択して下さい



M10186 01

Batch Mode Enable
- Send and Log



M10188 01

Batch Mode Enable
- Log Only

3. 通信方法を選択して下さい。



M10904 02

USB Downloader Mode



M10200 01

USB Keyboard Mode



M10201 01

USB Virtual Comm Mode

4. 保存したデータをホスト PC に送信する際は、CR2600 を充電ステーションに挿して下さい。データ送信前に 5 秒待機してからデータ送信開始します。

11. Batch Mode 状態通知

CR2600 がバッチ/保存モードの際、データが保存されるとストレージアイコンが 10 秒間に 1 回点滅して通知します。またデータ容量一杯になるとストレージアイコンは 5 秒間に 1 回点滅します。空き容量のためデータをダウンロード、または削除して下さい。
ストレージアイコンが消灯している場合は、データは保存されていません。



1 2. CodeXML モデムの接続

1. CodeXML モデムと一緒に同梱される USB、または RS-232C ケーブルを接続して下さい。



2. USB ケーブルを PC の USB ポートに、または RS-232C ケーブルをシリアルポートに接続して下さい。接続した際、モデムの青色 LED が 1 回点滅します。



1 3. Bluetooth コネクションの確立

1. モデム組込型充電ステーションをご利用の場合は、コミュニケーションモードスイッチを右側（矢印の方向）にスライドして On にして下さい。
2. モデム組込型充電ステーション、またはモデムに貼付されている Quick Connect Code (QCC) を読取して Bluetooth 接続を実行して下さい。
3. 接続処理が開始されると CR2600 のワイヤレスアイコンと充電ステーション、またはモデムの青色 LED が点滅します。正常に接続が確立されると CR2600 はビープ音が 1 回鳴り、ワイヤレスアイコンは 10 秒に 1 回点滅します。モデム組込型充電ステーション、または CodeXML モデムの青色 LED は点灯します。



※ 市販の USB ドングルをご利用する場合

Code 製品以外の Bluetooth デバイスを利用して接続する際は、Bluetooth の MAC アドレスが必要です。12 文字の MAC アドレスは製品のラベルや Bluetooth マネージャーのメニューより確認して下さい。MAC アドレスを確認したら <http://www.codecorp.com/bdaddr.php> より RF 1-Way Mode の QCC を作成して下さい。

Bluetooth 接続する前に Bluetooth の受信 COM のシリアルポート番号を Bluetooth マネージャーより調べる必要があります。そのシリアルポート番号を通して CR2600 は接続します。

14. 読取範囲

CR2600 読取性能		
バーコードの種類	最小読取距離	最長読取距離
Code 39 3mil (0.07mm)	3.1" (80mm)	4.0" (102mm)
Code 39 7.5mil (0.19mm)	1.3" (33mm)	7.2" (182mm)
GS1 DataBar 10.5mil (0.26mm)	0.8" (20mm)	8.7" (220mm)
UPC 13mil (0.33mm)	1.1" (28mm)	11.0" (280mm)
Data Matrix 4.2mil (0.1mm)	1.9" (48mm)	4.3" (110mm)
Data Matrix 5mil (0.12mm)	1.7" (43mm)	4.5" (115mm)
Data Matrix 6.3mil (0.16mm)	1.3" (33mm)	5.9" (150mm)
Data Matrix 10mil (0.25mm)	0.8" (20mm)	7.1" (180mm)
Data Matrix 20.8mil (0.52mm)	1.1" (28mm)	13.5" (343mm)

注意：読取範囲は広角・高密度の両方のエリアが有効になっています。全てのサンプルは高品質なバーコードであり、読取角度は中心より10度です。AGC設定はデフォルトです。精度：+/-10%

15. リーダーフィードバック

動作	LED	音	バイブレーション
起動成功	全てのLED点滅	ビープ音1回	あり
ホストとの接続成功	ワイヤレスアイコン点滅	ビープ音1回	あり
デコード処理成功 ホストへのデータ送信成功	読取通知LED点滅	ビープ音1回	あり
設定コード読取 設定変更成功	読取通知LED点滅	ビープ音2回	あり
バッチモード有効 データ保存	ストレージアイコン 10秒間に1回点滅	なし	なし
バッチモード有効 メモリー満タン	ストレージアイコン 5秒間に1回点滅	なし	なし
バッチモード有効 データなし	ストレージアイコン 消灯	なし	なし

16. 読取シンボル（デフォルト設定オン）

下記のシンボルはデフォルト設定で有効になっています。有効・無効を切り替える際は設定シートを読取して下さい。

Aztec	Data Matrix	QR Code
Codabar	Data Matrix Rectangle	UPC/EAN/JAN
Code 39	All GS1 DataBar	
Code 93	Interleaved 2 of 5	
Code 128	PDF417	

17. 読取シンボル（デフォルト設定オフ）

下記のシンボルはデフォルト設定で無効になっています。有効・無効を切り替える際は設定シートを読取して下さい。

Aztec Inverse	Composite	Micro QR	Trioptic
Code 11	Data Matrix Inverse	MSI Plessey	UPC-E Expansion
Code 32	Han Xin	Plessey	UPC Supplemental
Code 39 Checksum	Matrix 2 of 5	QR Code Inverse	Micro PDF417
Code 39 Extended Full ASCII		Straight 2 of 5	

18. Suffix Enter キー

デフォルトでは Suffix（データ末尾）には何も追加しません。
データ末尾で改行したい場合は、右記の設定コードを読取して下さい。

更に詳細な Suffix の設定は CR2600 の設定シートをご参考下さい。

Suffix Enter



19. リーダーID とファームウェアバージョン

リーダーの ID とファームウェアバージョンを確認するためには、テキストアプリケーション (Microsoft Word や Notepad など) を立ち上げて、下記の設定コードを読み取して下さい。

Reader ID and Firmware



CR2600 の ID (シリアル番号) とファームウェアバージョンが下記のように表示されます。

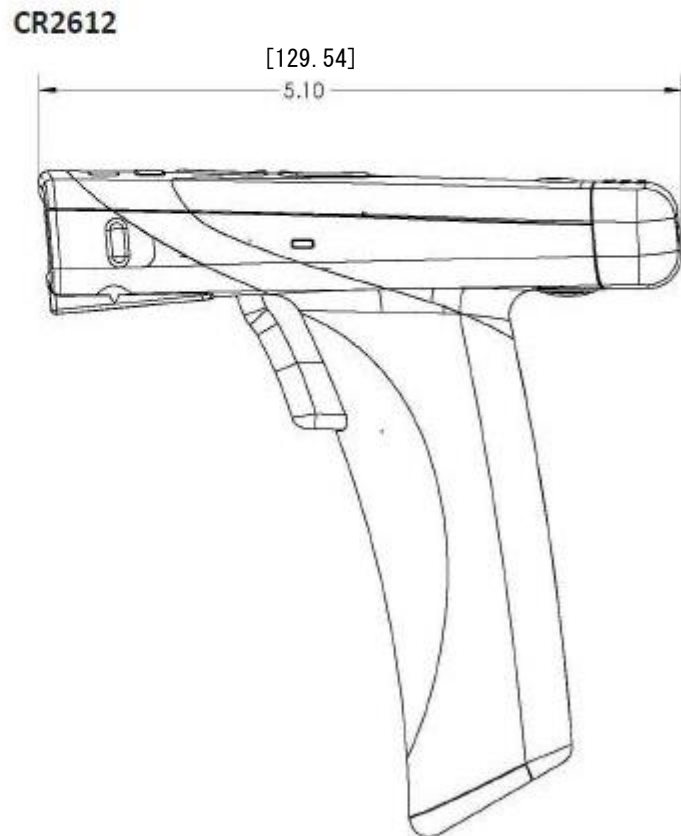
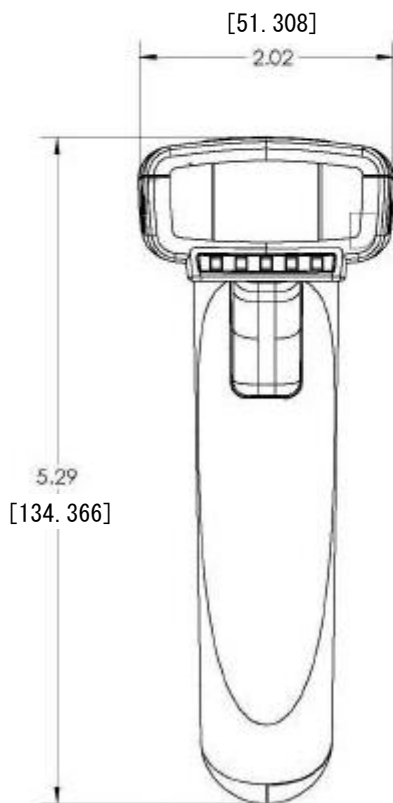
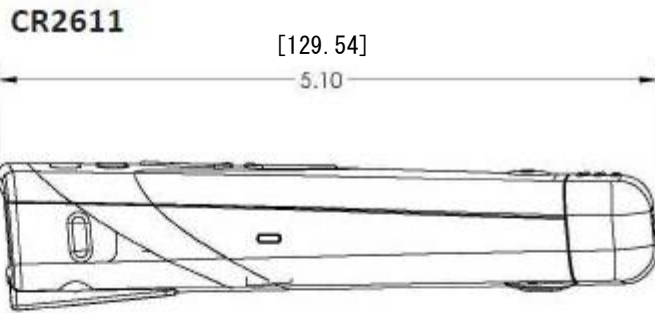
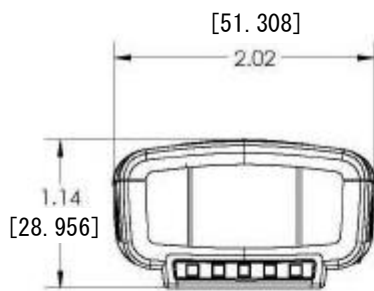
iVVVVVWWWWXXXSSSSSSSSSSAOODYYYYHHIIJJJKKKLLLL<TAB>Z...Z

<u>Xap/i</u>	内部 ID (定義)
<u>VVVV</u>	アプリケーションファームウェアバージョン
<u>WWWW</u>	ファームウェアバージョン
<u>XXXX</u>	Bluetooth ファームウェアバージョン
<u>SSSSSSSSSS</u>	シリアル番号
<u>A</u>	“A” の場合はファームウェア起動中
<u>00</u>	OEM 番号
<u>D</u>	ディスプレイタイプ
<u>YYYY</u>	フラッシュファイルバージョン
<u>HH</u>	ハードウェアバージョン
<u>IIII</u>	ハードウェアタイプ
<u>JJJJ</u>	ブートアプリケーションバージョン
<u>KKKK</u>	カーネルバージョン
<u>LLLL</u>	ルートファイルシステムバージョン
<u><TAB></u>	ASCII キャラクター
<u>Z...Z</u>	OEM デコーダーバージョン

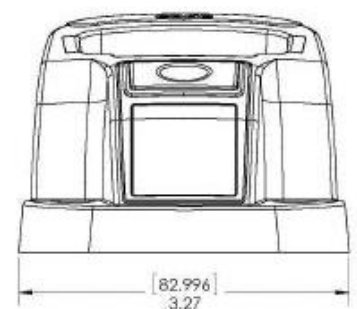
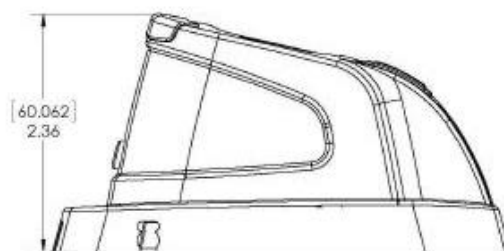
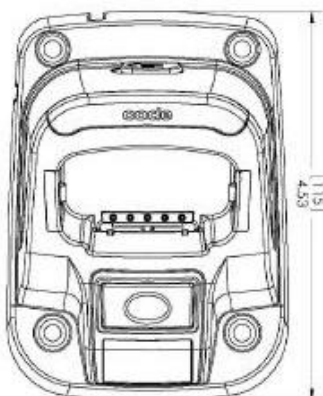
例 : -ap/i06420456blue0020064858A0600000010009002000731001

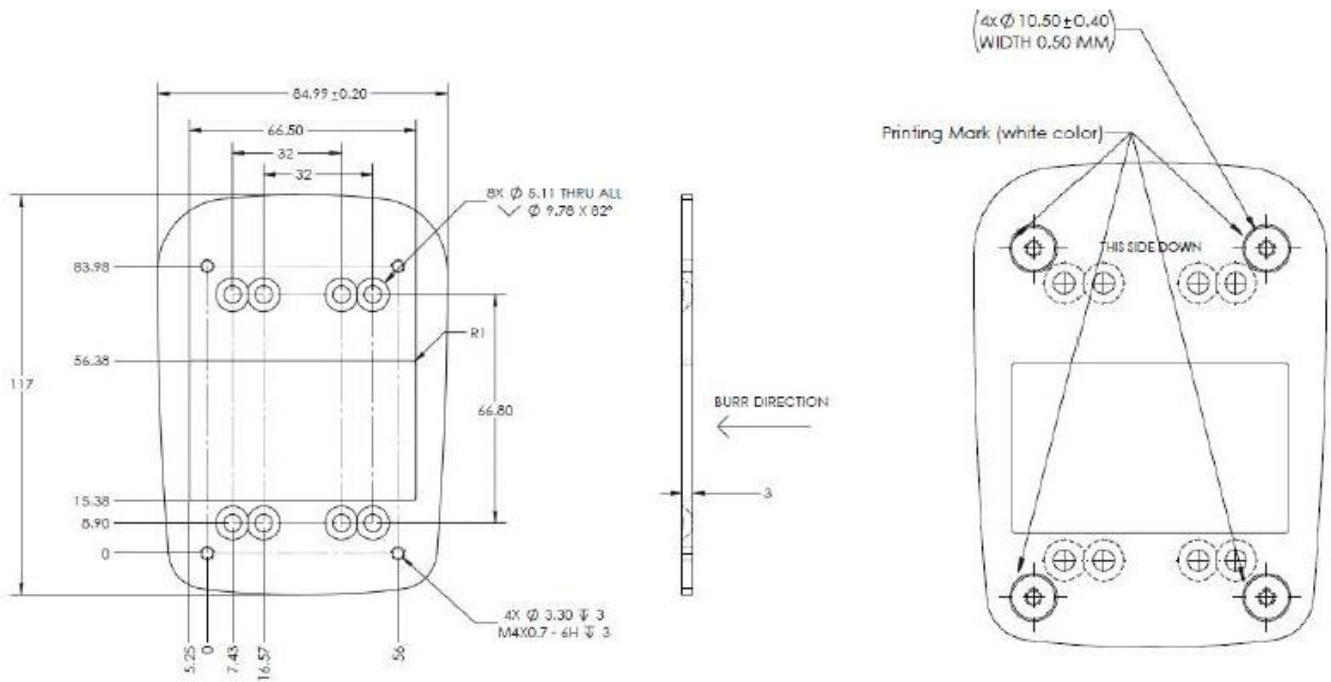
cd13. 1. 9)

20. CR2600 外観・寸法



21. 充電ステーション外観・寸法





2.2. メンテナンス

CR2600 を、确实・効果的に利用するためには最小限のメンテナンスを行なう必要があります。下記にメンテナンスの説明を記載しますのでご参照下さい。

CR2600 の読取窓を清掃

CR2600 の読取窓は、最も良いパフォーマンスを引き出すためにも清掃が必要です。読取窓は、リーダー本体の先頭部の中にある透明なプラスチック板です。読取窓に触れないで下さい。CR2600 は、デジタルカメラと同様に CMOS 技術を使用しています。読取窓が汚れていると CR2600 は、バーコードをスキャンできなくなります。

もし読取窓が汚れたら、柔らかくざらざらしていない布、あるいは水を湿らせたフェイシャルティッシュ（ローションあるいは添加物の含まれない物）できれいに拭いて下さい。読取窓をきれいにするために中性洗剤を使用したら、必ず水を湿らせた布あるいはティッシュで窓の洗剤を拭き取って下さい。

CR2600 本体も同様に清掃して下さい。

CR2600 を消毒する必要がある場合には、下記の成分を含む溶液を使用して下さい。:

- 1) イソプロピル アルコール
- 2) エチル アルコール（変性アルコール）

漂白剤は使用しないで下さい。

技術サポートと返却

修理返却あるいは技術サポートを必要とする場合には、購入店またはコードリーダー・ジャパン株式会社へ連絡をして下さい。

23. 保証

- 修理と調整 ー CR2600 の修理および調整を行なうためには、Code 社の承認が必要です。許可なしに CR2600 のケースを開けた場合には、全ての保証が無効になります。
- 電源供給 ー 電源供給装置に関しては、Code Reader 製品の仕様に適している条件で標準アクセサリ以外の製品をご利用いただけます。
- アクセサリ ー Code 社が承認したアクセサリを Code Reader 製品でご利用下さい。未承認のアクセサリを使用された場合には、如何なる責任も負いません。
 - ・装置を取り扱っている作業員への傷害
 - ・装置への損害
 - ・保証適用の無効

Code Reader 2600 は、Code 社の 3 年間の無償保証が付いています。

保証条件

Code 社は、工業規格業務に合わせて製品を生産しています。Code 社の保証は、通常の操作が行なわれる環境を想定しているため、製品の材質や形状などの問題は保証対象外となります。この保証は、CR2600 の所有者へ提供したもので第三者へ譲渡することはできません。この保証書は、すべてのあらゆる免責事項、制限、この章の他の用語に依存します。

保証期間

Code 社の Code Reader 2600 と充電ステーションは、3 年間の無償保証が付いています。バッテリー 1 年間です。

免責

以下の項目は保証外となります。修理した製品、変更した製品、あるいは Code 社の承認なしに不法改造した製品や Code 社の提供する操作手順などに記載された操作や手順以外による物理的異常、電氣的異常、浸水、激しい打撃、誤使用、不正使用、電力不足、正しくない電圧供給、極性の間違いなどの不注意や事故による製品については、如何なる理由でも保証対象外となります。通常の保守は、ユーザ様の責任で行なわれるもので保証の適用外となります。

保証の適用と手続き

日本国内で購入された場合には、購入店へ修理依頼をお願いいたします。修理返却の場合には、納品した梱包状態、あるいは同等の梱包状態で、送料は送り主負担にてご返却下さい。基本的に修理は、米国 Code 社にて行いますので修理費用の中には米国への送料往復が含まれます。

Code 社は、保証期間中の修理や交換修理を米国内のサービスセンターで行います。修理は、製品を修理する場合と同等品との交換修理の二種類があり、Code 社の判断にて修理方法を選択します。また、修理により CR2600 に保存されているデータやアプリケーションなどは削除されることがありますので、修理前にデータなどの保存を行なって下さい。

総括

上に記載した保証を除いて Code 社およびコードリーダー・ジャパン株式会社は、製品適合性の暗黙、特別な目的、否侵害行為の保証制限を含めて以下に関連付けられた製品において全ての保証、特別、あるいは暗黙な保証を否認します。開始した特別な保証は、直接的あるいは間接的に製品の使用または能力に関連して生じた重大な損害の制限を含めて全ての義務、あるいは責任として障害賠償金の一部を負担します。如何なる使用方法よる結果が生じても販売先、あるいはその他（行動、契約、保証、不法行為、医療過誤などの形式に関わらず）への損害賠償金は、販売価格を上限として保証いたします。

事象について Code 社およびコードリーダー・ジャパン株式会社はその可能性について助言をしたとしても重大、特別、間接、付随あるいは懲罰の損害賠償においても利益、収入、データなどの損失の責任を負うものではありません。

保証適用外

保証期間内でも次の場合には有料修理となります。

- 1) 修理ご依頼の際、保証書のご提示がいただけない場合。
- 2) 保証書の所定事項が未記入の場合、または字句が書き換えられた場合。
- 3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天変地変、公害または異常電圧による故障もしくは損傷。
- 4) ご購入後の輸送、移動、作業時の落下・衝撃などお取り扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷。
- 5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷または接続している他の機器にきいんする故障もしくは損傷。
- 6) 取扱説明書の記載の使用方法または注意に反するお取り扱いに起因する故障もしくは損傷。
- 7) 弊社以外で改造、調整、部品交換、ファームウェア変更などされた場合。
- 8) その他弊社の判断に基づき有料と認められる場合。

ハードウェア保証書

型 式 : CR2611-PKCMU-F1 CR2611-PKCXX-F1

CR2612-PKCMU-F1 CR2612-PKCXX-F1

シリアル : _____

保証期間 : ご購入日より 36ヶ月間有効です。

購入日 : _____ 年 月 日

会社名 : _____

部署名 : _____

担当名 : _____

〒 - ☎ () -

ご住所 : _____

E-Mail : _____

取扱説明書などの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、商品と本保証書（コピー可）をご提示の上お買い求めの販売店または、弊社にご依頼ください。

コードリーダー・ジャパン株式会社